



胆沢区 科学に触れて目がキラキラ 胆沢「宇宙の学校」

胆沢保育園（宍戸由美子園長、園児123人）で7月12日、「宇宙の学校」が開かれ、年長児25人が「ストレッチローラー」づくりに挑戦しました。これは、子どもたちが身の回りの科学に触れ、好奇心を育むことを目的に、NPO法人子ども・宇宙・未来の会（相模原市）などが展開するプログラム。県内では本市の4会場でのみの開催となっています。

歩くだけでたこが揚がると、園児たちは大はしゃぎ。歓声を上げながら、楽しんでいました。

発砲ストレッチローラーのシートで作ったたこを揚げる園児



捕まえた水生生物に歓声を上げる児童

胆沢区 水生生物を捕まえ児童歓声 水の歴史記念公園で生き物観察会

胆沢平野土地改良区（及川正和理事長）と市立若柳小学校（伊藤誠校長、児童134人）による生き物観察会が7月10日、胆沢区若柳の水の歴史記念公園で行われ、同校の3年生23人が参加しました。この取り組みは、5年前から行われているピオトープ整備の一環。同公園内の自然観察池で、網で水生生物を捕まえ、名前などを調べました。参加した千尋愛流さんは「初めて生き物調査をした。ヤゴやゲンゴロウ、ヒルがいてびっくり」と歓声を上げていました。



銘文碑を関係者の除幕でお披露目

江利区 いにしへの歴史を未来まで えさし藤原の郷開園20周年記念事業

えさし藤原の郷が開園20周年を迎え、記念セレモニーなどが7月13日と14日の両日、同公園内で行われました。セレモニーには、関係者など約200人が出席。20周年を記念して中尊寺から株分けされたハスの銘文碑の除幕が行われました。そのほか、コンサートや講演会などの記念イベントが行われ、多くの来場者が20周年の節目を祝いました。

初日の「奥州の祀」では、小雨の舞う中、伝統芸能を継承する市内団体が、勇壮な演舞を披露しました。

弾けるような笑顔で演舞する前沢のよさこいチーム「紅翔連」



水沢区 夢の実現に向かって第一歩 県立水沢商業高校の就業体験学習



丁寧な接客対応をする千葉さん（水沢図書館にて）

県立水沢商業高校（佐々木康博校長、生徒325人）の就業体験学習が7月29日から31日まで、市内など35事業所で行われました。これは、職業観・勤労観の育成や進路実現に向けての意欲を養うことを目的としたもの。2年生93人が実際の職場での仕事を体験しました。

市立水沢図書館では、千葉幸穂さんと高橋瑠璃香さんが図書の貸し出し業務などに従事。「本が好きで図書館を希望しました」「ちょっと緊張しています」と話す2人。慣れない来客対応に、同館職員の指導を受けながら一生懸命取り組んでいました。

※この記事は、市政企画課で広報作成の体験学習をした及川佳純さんと滝田菜奈さんと共に取材・作成したものです

前沢区 みんなで考える協働のまち 前沢で「地域づくり研修会」

前沢地区連合振興会（渡邊光朗会長）の第1回地域づくり研修会が7月6日、前沢ふれあいセンターで開催され、役員や地区民など約70人が参加しました。

研修会では、はじめに小沢昌記市長が「協働のまちづくり」について基調講演。続いて、いわて地域づくり支援人財ファンドの村井研二氏が司会者、同連合振興会を組織する自治振興会などの会長6人をパネリストとして、「みらいの前沢 わたしたちに出来ること」をテーマに活発な意見を交わしました。

意見を述べるパネリストと真剣に聞く参加者



事例発表を行う鈴木氏

水沢区 節電と省エネの意識を醸成 企業の節電・省エネ対策セミナー

企業の節電・省エネ対策セミナーが7月3日、市铸物技術交流センターで行われました。この日は、市内の事業所関係者約20人が参加。講師の省エネルギーセンター東北支部の鈴木新右エ門氏が節電対策のポイントなどについて事例を交えながら発表し、各職場での対策を助言しました。鈴木氏は「企業に限らず、個人を含め、エネルギー使用者全てが節電に取り組む必要がある」と説明。各企業の担当者は今夏の節電に向けて、対策方法を熱心に聞いていました。